神戸市社会福祉協議会 福祉の情報誌

きずな KOBE

第10号
TAKE FREE
July.2015

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金

この広報誌は赤い羽根共同募金配分金を受けて発行しています。

特集 「つながり」が子育てをたのしく・ゆたかに

表紙写真／「ひろば文庫」のミニおはなし会

美味しい! かわいい!福祉のお店
和みの海　たんぽぽ

会いたかった Yes! この人
小倉 譲さん（特定非営利活動法人 しゃらく 代表理事）

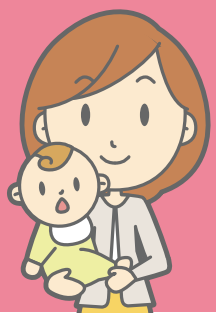
季節の人気メニュー
甘こうじ豆乳パンナコッタ

催し・イベント情報ほか読者アンケート&プレゼント

家族が熱い一週間

キャンペーン重点期間

平成27年　7月22日～ 8月31日
平成27年　11月 8日～11月21日



「つながり」が子育てを

今回は、地域の人たちが手をとりあって子育てを応援している取組みを大特集！ 核家族化がすすみ、ひとりで子育てに思い悩んだら、こうした取組みをきっかけに今までにない「つながり」を探してみては

同じ仲間だから、わかりあえる 親子ひろば そらまめ

「親子ひろば そらまめ」は、親子でのびのびと過ごせる遊びのひろばです。この会を運営するのは、現役子育て中のママさんグループ「垂水ママミーズ」。同じ子育て中の親同士だからこそできる細やかな気配りもあり、「安心して子どもを遊ばせられる」と評判です。今では、その評判を聞きつけて他区からやってくる親子もいるほど。

「わかってくれる」嬉しさ

子育て中の悩みや不安に、マミーズのメンバーが親身に応じます。そこには子育て仲間だからこそ生まれる共感もあり、参加者もメンバーもお互いに、日頃の苦労を分かちあえる良き理解者となります。

楽しい企画もたくさん

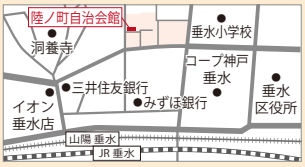
月に2回、親子で楽しめるプログラムも開催されています。リトミック体操やベビーマッサージなど、その内容はさまざま。講師の先生にとっても、地域デビューのきっかけになっているんだとか。

そばにいてくれる安心感

毎回、3人体制でマミーズのメンバーが参加する親子を見守ります。メンバーの中には幼稚園教諭などの有資格者もおり、お子さんがお母さんの手を少しだけ離れ、ほっと一息つける時間となっています。

親友（おやとも）もきっと見つかる

初めて参加するときの「みんなの輪に入れるかな…」という不安。マミーズのメンバーは、そうした不安を抱える親子に寄り添います。その理由も、「同じ気持ちが分かるから」。うまくみんなの輪に入れるよう、そっと後押ししてくれます。



親子ひろば　そらまめ

神戸市垂水区陸ノ町1 陸ノ町自治会館
開催日：毎週木曜日　10:00～12:00
利用料：100円（プログラムへの参加は別途有料）
TEL:090-5157-5975

異なる世代がつながり、ふれあう すずらんサークル

「すずらんサークル」は、親子の居場所が少ないという課題に鈴蘭台・小部婦人会のみなさんが立ち上がり、2年前に始まりました。今では神戸親和女子大学の学生さんも参加し、様々な顔ぶれが揃います。異なる世代の交流がもたらす効果は親子へのサポートにとどまらず、学びや生きがいといったかたちにも広がりを見せています。

“先輩”としてできることを

すでに子育てを終えた婦人会員さんはその道の大ベテラン。子育ての悩みに対して、励ましの言葉とアドバイスをくれる、温かくて頼れる存在です。また、もっと親子の力になりたいという思いから始まった「お母さんの知恵袋」コーナーでは、昔ながらの文化をご紹介。この日は草もちの作り方を伝授してくれました。昔のことを今に伝えるという自分たちならではの役目に、またひと味ちがったやりがいを感じておられるようです。

日々の積みかさねを、地域のために

スタッフとして活躍するお姉さんたちは、神戸親和女子大学の学生さん。子どもたちのために何ができるかを考え、実践することで、日頃の学びを地域に役立てています。子どもたちとのふれあいは驚きの連続。ひと月ぶりに会った子どもたちの顔つきの変化や成長ぶりを感じたことも、繰り返し参加する中での発見でした。
単なるお手伝いにとどまることなく、ここに集う人たちとの交流経験を通じて、さらなる学びを深めています。

すずらんサークル

神戸市北区鈴蘭台東町1丁目　善喜ビル5階
開催日：毎月第3月曜日　10:00～12:00
利用料：無料
TEL:078-591-1234（小部婦人会・木戸）

たのしく・ゆたかに

親子が孤立しがちな今だからこそ、地域ではそうした親子へのサポートの輪が広がっています。
いかがでしょうか。あなたの近くにも、力になってくれる人がいるかもしれませんよ。

絵本が育む親子のつながり
ひろば文庫

「ひろば文庫」は、親子が読書に慣れ親しんでもらうことを目的に、絵本の貸出しや月に2回の読み聞かせ会を開いています。そのはじまりは40年前にまでさかのぼり、当時、絵本を借りに来ていた女の子が恩返しの気持ちから会を支えることに…なんてエピソードも。現在は、子育て中のお母さんたちが会の運営を担い、その歴史を受け継いでいます。

ゆっくり絵本とふれあえる

わんぱくな子どもたちとまちの図書館へ出かけると、他の人へ迷惑をかけないよう気疲れしてしまうことも。ひろば文庫なら、そんな心配もなくゆっくりとお目当てのものを探し、絵本を楽しむことができます。どの絵本にするか悩んだときは、ひろば文庫のみなさんにご相談を。希望のジャンルやイメージをもとに、素敵な一冊を見つけるための力になってくれますよ。

絵本の魅力を伝えたくて

ひろば文庫のみなさんは、現在は出張読み聞かせにも活躍中。絵本の魅力を発信するために、精力的に活動しています。絵本の読み聞かせも、大切な親子のコミュニケーション。お気に入りの絵本が見つかれば、それが親子の絆をより深いものにしてくれるかもしれません。みなさんの地域でも、このような絵本とふれあえる機会があれば足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

ひろば文庫
神戸市須磨区桜木町2丁目3−7「須磨の家ふくふく」内
（山陽電車 須磨寺駅 徒歩3分）
開催日：毎月第1・第3水曜日 10:30〜12:00
　　毎月第2・第4水曜日 15:00〜17:00

たすけられたり、たすけたり
神戸市ファミリー・サポート・センター

「神戸市ファミリー・サポート・センター」は、「子育ての応援をしてほしい人（依頼会員）」と、「子育ての応援をしたい人（協力会員）」の出会いをコーディネートしています。仕事や急用でこどもの世話ができない！とお困りのときに、協力会員がサポートしてくれる…。センターは、そんな地域の応援の輪を広げています。「力になりたい」と思われる方は、ぜひご連絡ください。

協力会員：前田 洋子さん　依頼会員：忍頂寺 希依美さん

区役所で紹介されて、この活動を知った忍頂寺さん。お仕事の関係で週に1回、幼稚園へのお迎えや2時間のお預かりを前田さんにお願いしています。ともかちゃんが生まれた時から3年間のお付き合いです。前田さんは3年前まで保育園で調理士をされていましたが、退職後、この活動に登録。「子どもさんと一緒にいると笑顔になれます。孫のいない私にとっては孫のようなもの。子どもの成長が見られるのも楽しみです」と、前田さん。「前田さんに預かっていただくことで仕事もできるので、本当に助かっています」と、忍頂寺さん。のびのびと過ごすお子さんたちの笑顔は、長い付き合いから生まれた信頼関係を物語るようです。

写真左から、前田さん（協力会員）、ともかちゃん（2歳）、忍頂寺さん（依頼会員）、あやみちゃん（5歳）

神戸市ファミリー・サポート・センター移転のお知らせ

平成27年4月20日より神戸市総合児童センター（こべっこランド）に移転いたしました。
神戸市中央区東川崎町1丁目3-1
業務日時：月曜日〜金曜日　9:00〜17:00
　　（土・日・祝・年末年始は休日となります）
TEL:078-335-6100
※当センターには駐車場はありません。

企業も子育てを応援中!
広がる! フジッコ食育活動

1960年の創業以来、豆や昆布の加工食品を主力商品としてきたフジッコ株式会社。
同社は現在、食育活動を展開し、食に携わる企業として子育ての応援にも取り組んでいます。

今回ご紹介する“篠山の農地体験”は、煮豆などのお惣菜でなじみのある同社らしい体験プログラムで、丹波篠山黒大豆の作付けから収穫、調理までを親子で体験するもの。大好きな枝豆が大豆になることを知らず大豆嫌いが多い子どもたち…。調理済みの状態で見かける豆がどのように育ち、食卓へ届くのかを子どもたちに知ってもらうことで、食材に親しみをもってほしいとの思いから始まりました。

当初は作付けと収穫のみだった内容は、現地関係者の協力を広げながら内容を充実。7年目となる現在では、農地体験のほかに、問屋さんの保存庫見学や職人さんとの手より作業（選別作業）体験のように、子どもたちが「食」ならぬ「職」に触れられるものへと進化しています。

担当者に伺うと、豆が苦手だった子どもがプログラムへの参加後に食べられるようになったとのうれしい反応も。自分の手で育てたという思い入れや経験が、好き嫌いをなくすきっかけとなったのかもしれません。

また、体験を終えた親子が現地の農家と直接連絡を取り、再び交流を深めるケースもあるそうで、都市部の子どもたちは土に触れる機会が少なくなったと言われるなか、同社の取組みはそのきっかけにもなっています。

子育て中の親子への支援は身近な地域でも取り組まれていますが、最近は、企業もその持ち味を活かしたユニークな活動を広げています。こうした企業による取組みにも一度目を向けられてみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ　フジッコ株式会社
神戸市中央区港島中町 6-13-4
TEL.078-303-5361
http://www.fujicco.co.jp/

ふれあいのまちKOBE 愛の輪運動会員の取組みをレポート!

トヨタハートフルプラザ神戸が障がい者雇用促進イベントを開催

「思いやり・譲り合い・助け合い」という福祉の心を広める「ふれあいのまちKOBE 愛の輪運動」。

この取組みに参画するトヨタハートフルプラザ神戸が、5月23日と24日の両日、障がい者雇用促進イベントを開催しました。普段は福祉車両の並ぶ店内が、障がい者施設の製品販売や音楽ライブショーで賑やかに。こうした福祉施設とのコラボは当社が独自に働きかけ、2008年から年間2・3回開催されています。

23日は障がい者雇用に関する講演会も開催。有馬温泉のホテル経営者から「障がい者に優しい温泉街を目指して」、外食チェーン企業からは「人事担当者と就労者の生の声」と題し、実際に企業で働く障がい者本人の話も交えながら、各企業での取組みが紹介されました。

イベントを開催した店長の前田さんは「このイベントで車を売るわけではありません。私どもの店舗を有効に活用していただくことで、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりの一助になれば…」と笑顔で話しておられました。

市内の企業や団体が参画する「愛の輪運動」。それぞれの持ち味を活かした取組みが実を結び、福祉の心であふれるKOBEのまちとなってほしいですね。

会いたかった Yes! この人

訪問看護で日常を、旅で非日常を！自分がどうしたいかを発言できる社会に。

▲小倉さんとスタッフの皆さん

特定非営利活動法人 しゃらく 代表理事
小倉（おぐら） 譲（ゆずる）さん

1977年神戸市生まれ。高校卒業後、中国上海、雲南省での4年間の留学を経て、大学入学。その後、サラリーマンから転身。2005年任意団体NPC和橋代表に就任。翌2006年1月、現NPO法人しゃらく代表理事に就任。

2006年1月、「ゆとりあるライフスタイルを提案し、心のバリアフリーを推進する」という理念のもと、設立されたNPO法人しゃらく。その事業の一つが「しゃらく旅倶楽部」です。

「しゃらく旅倶楽部」は要介護者など高齢者の付き添い介護付き旅行を提供しており、パック旅行からオーダーメイド旅行まで"いきたい"旅のお手伝いをしてくれます。創業メンバーはアルバイトをしながら旅行業の資格を取得し、2008年4月にスタート。同倶楽部への思いは、代表理事である小倉さんと、寝たきりであった祖父との片道150キロの旅がきっかけでした。祖父の生まれ故郷への旅を引き受けてくれる旅行社が無かったことや、旅をすることで祖父が元気になっていく姿を見たことで、「旅は最高のリハビリ。心の改善があるから機能が改善することに気づかされました。体が不自由になると、行きたいという気持ちがあっても無理だと思いがちです。それを徐々に和らげてあげることが大変なことであり、大切なことだと思います。それこそが、心の改善につながってくると思います」と、小倉さん。これまでの利用者は2500名を越え、24時間介護が必要な方や末期ガンの方など行きたいという気持ちがあっても、普通であれば旅に出ることはかなり難しい状況にある方も多いそうです。そんな方々をハワイや韓国、台湾、アルペンルートなど十人十色の要望に応えています。

「旅行とは自分が拠点にしているところから一歩出ることなので、病院から自宅に帰ることも旅の一つ。それに対応できるしゃらく旅倶楽部でありたいし、それを解決するためにも訪問看護ステーション"うみ"を開設しました」と、小倉さん。今後は、自宅を病棟化しないという思いで訪問介護にも力を入れていくそうです。

そして、NPO法人しゃらくの夢は、病院でも自宅でもない第三の場所である"しゃらく憩いのハウス"を立ち上げること。十年後にはイギリスのがん患者支援施設"マギーズセンター"の日本版を実現するため、小倉さんは意欲的な活動を続けています。

みんな大好き 季節の人気メニュー

Recipe 甘こうじ豆乳パンナコッタ

甘糀（あまこうじ）を砂糖代わりに使用し、豆乳と合わせて七夕デザートにしました。

甘糀（甘酒のもと。米の糀で作った発酵食品）は必須アミノ酸、パントテン酸、ビタミンB群などの栄養素が多く含まれており、「飲む点滴」とも言われています。

ノンアルコールなので、離乳食から始められます。

材料（4個分）

- みかんジュース（果汁100%）…100cc
- 粉寒天…1g
- 白桃缶…適量
- ミント…適量
- 黒蜜…適量
- 甘糀…150g
- 豆乳…300cc
- 粉ゼラチン…5g
- 水…大さじ2

作り方

トッピング

① 鍋に、みかんジュースと粉寒天を入れ火にかける。② かき混ぜながら3分ほど煮溶かす。③ バットに②を流し入れ、冷やし固める。④ 星形に型を抜く。⑤ 白桃缶も星形に抜く。

パンナコッタ

① 水大さじ2にゼラチン5gを入れてふやかす。② 豆乳300ccを沸騰させないように温めて①を入れる。③ ②に甘糀を加えて混ぜる。④ 粗熱を取った後、冷蔵庫で冷やし固める。⑤ ④に黒蜜をかけ、星型に抜いたゼリーと白桃を盛る。

紹介者

宗教法人　西林寺

大池保育園

大切に思うことは、子育てを通して親も子も保育士たちも、皆で共育ちをすることです。

〒651-1201
神戸市北区西大池
1丁目21-11
TEL.078-583-0101

神戸どうぶつ王国に初の屋外エリア「アウトサイド・パーク」がオープン！

今年4月25日にオープンした「アウトサイド・パーク」では、およそ10,000㎡の開放的な空間に動物たちがのびのびと過ごしています。大人気の新イベント、本場ニュージランドの羊飼いによる「ドッグパフォーマンスショー」は1日、2回開催。馬とポニーの引き馬を体験できる「ホースライド」や、フタコブラクダとふれあえる「キャメルコーナー」、人気者のペンギンたちが自由に歩き回るエリア「ペンギンウォーク」、カンガルーの豆蔵一家とふれあえる「カンガルファーム」など家族ぐるみで楽しめます。

※天候や動物の体調などにより、エリアの閉場やショーの内容が変更・中止になる場合がございます。

花と動物と人とのふれあい共生パーク
神戸どうぶつ王国
☎ 078-302-8899
兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-9
動物取扱業の登録　販売【登録番号】神保保第0314002号　展示【登録番号】神保保第0314001号
【有効期間】平成26年4月1日～平成31年3月31日まで有効【取扱責任者】藤岡　健児
アクセス　三宮からポートライナーで約14分　京コンピュータ前駅（神戸どうぶつ王国）下車すぐ

花と動物と人とのふれあい共生パーク
神戸どうぶつ王国
入国料10%off

有効期限 2015.9.30
※本券1枚で5名様までご利用いただけます
※他の割引券・サービスとの併用は出来ません
※団体プランとの併用は出来ません

美味しい！かわいい！福祉のお店

こだわりのデザインを丁寧に仕上げた本格的革製品が人気
和みの海（なごかい）

2012年に神戸市垂水区の海岸通に開所された就労継続支援B型施設。多機能型就労支援事業所として3年が過ぎ、通常は企業の下請け作業を行っています。ほとんどの方が毎日通所され、定員20名を越えるようになったため、今年1月に「和みの海セカンド」を開所しました。同時に、特集でも紹介した子育て支援グループ「垂水マミーズ」とコラボし、子ども服のリサイクルショップ「そらまめ」を運営。「通所される若い方にいろいろなことにチャレンジしてほしいので販売の体験もしていただいています。また、試行錯誤中のオリジナル商品ですが、革デザイナーさんに1年間ご指導いただき、革製品も販売するようになりました」と、代表の越智和子さん。営業時間を拡大し、第4土曜日は10時から16時までに！地域に密着し、地域をともに盛り上げています。

人気のニャンちゃん、ワンちゃんシリーズ

バリエーションも豊富な革製品

住　所　ショップ:神戸市垂水区旭が丘2-1-11 クリエイトビル
事業所:神戸市垂水区海岸通1番20号
TEL.&FAX.　078-706-6860
営業時間　10:00～15:00
定休日　土・日・祝日
ホームページ　http://www.mirai-ks.com/

子ども服のリサイクルショップ「そらまめ」

デザイナーの
まもさん（大坂 守さん）

芸術的な作品を彩り豊かに完成 展示即売会も人気
たんぽぽ

1998年に設立された小規模通所授産施設「たんぽぽ」。現在、18歳以上の知的障がいのある方が23名通所しています。明るい部屋にはフィンランドから輸入されたトイカの織機が並び、バイアステープのポッパナやペーパーヤーン、羊毛のフェルトなどこだわりの材料を使ったカラフルな作品が目の前に広がります。フェルトアーティストとして有名な坂田ルツ子先生やジョリー・ジョンソン先生に直接きめ細かい指導を受け、独自のデザインでまさに1点物の芸術作品を完成します。「物づくりに向かうことは厳しいけれど、互いに支えあうのが〝たんぽぽ〟です。自分のやりたい色や形を自由に作り、仲間を作っていくからマンネリ化もしません」と、施設長の坂田雅亜子さん。制作中のイキイキした表情も、作品の芸術性もみんな一緒にどんどん進化中です。

住　所　神戸市東灘区御影塚町3-6-10 NKビル4F
TEL.&FAX.　078-843-4985
営業時間　10:00～12:00
定休日　土・日・祝日
ホームページ　http://www.tanpopo-voikukka.jp/

豊かな色彩が
世界に一つの帽子

※7月23日(木)～26日(日)
北野工房のまちで恒例の展示即売会を開催。初日は混雑しますのでお早めにご来場ください。

表裏を袋状に織れる
フィンランドの織機トイカ

小物も人気

それぞれの個性が光る作品を制作

神戸市営地下鉄

西神中央　西神南　伊川谷　学園都市　総合運動公園　名谷　妙法寺　至 三宮

西神中央駅前 PLENTY

110のショップ&レストラン
プレンティ ☎992-0001

西神南駅前 Serio

素敵を彩る郊外生活夢中館
セリオ ☎992-6200

学園都市駅前 CampusSquare

夢ひろがる暮らしのステージ
キャンパススクエア ☎793-6601

名谷駅前 PATIO

いつでも　そこが
須磨パティオ ☎793-1740

妙法寺駅前 RIFARE

いつも暮らしに青空を　街の生活必需館
リファーレ横尾 ☎741-8814

お買い物は地下鉄沿線で！
5つのショッピングセンター

株式会社 OMこうべ
http://www.om-kobe.co.jp

イベント　こべっこランド

● こべっこランド中学生プログラム
The dream is “Over there”!! ～夢はそこにある～

7月26日(日)～8月8日(土) 10:00-16:00

中学生向けのプログラム(料理、芸術、デザインなど)を夏休み期間中に実施!

①ジュニアドラム教室 ②風力発電用風車を作ろう! ③なわとびでパフォーマンスダブルダッチに挑戦!! ④ラジオ番組作りに挑戦! ⑤「iPad」で表現!ストップ・モーション・ムービー ⑥「小さな家」をデザインする～住宅設計プランニングと模型づくり～ ⑦こべっこサイエンスラボ「薬の調剤にチャレンジ」 ⑧無形文化遺産、和食に挑戦！ ⑨木の工房

【参加費】一部有料　事前申込み

● こべっこ de ハロウィン

10月24日(土)・25日(日)　10:00-16:00

こべっこランドがハロウィン一色に!!
魔女の帽子やマントなどを自分たちで手作りするコーナーや楽しいクッキング、コンサートなどハロウィンにちなんだ楽しいイベントが盛りだくさんです。

【参加費】一部有料　当日先着順受付

【場所】神戸市総合児童センター(こべっこランド)
神戸市中央区東川崎町1-3-1
申 問 神戸市総合児童センター(こべっこランド)
TEL.(078)382-1300　E-mail :mail@kobekko.or.jp

講座　市民福祉大学

● 介護福祉セミナー　ころばぬ先のつえ―これからの住と食を学びましょう―

8月18日(火)10:00-12:00　8月19日(水)10:00-13:00

介護に関わる住まいの知識と、市販の惣菜を使って手軽に栄養バランスを取れる調理方法について、講義や実習を通じ学びます。

【参加費】2,500円　【定員】25人

● 市民福祉セミナー　暮らしの中の性の多様性―LGBTを知ろう―

8月21日(金)　14:00-16:00

人口の5%といわれるLGBTを含めた多様な性の理解を通じ、人の生き方・あり方について考える講座です。

【参加費】1,000円　【定員】80人

● 上手な会議の作法を身につけよう!

9月4日(金)　9:30-16:30

会議の場をより有意義にするための考え方、会議運営のポイントを学びます。

【参加費】1,000円　【定員】30人

● 手話ボランティア養成講座(基礎編)

10月7日(水)～平成28年3月2日(水)

朝クラス10:00-12:00／昼クラス14:30-16:30／夜クラス18:30-20:30

入門講座を修了された方を対象に、手話技術の習得・聴覚障がい者への理解を深めます。

【参加費】8,000円【別途テキスト代 3,240円】【定員】30人

● 地域の課題を探り解決する方法を学ぼう!

10月9日(金)　9:30-16:30

地域活動を進める上で必要な課題把握・解決法に向けてのポイントを学びます。

【参加費】1,000円　【定員】30人

※上記5講座はお申し込みが少ない場合はやむを得ず中止することがあります。
会場はいずれも
【場　所】こうべ市民福祉交流センター(中央区磯上通3-1-32)
申 問 〒651-0086
神戸市中央区磯上通3−1−32　こうべ市民福祉交流センター1F
TEL. (078)271−5300　FAX. (078)271−5365
E-mail: daigaku@with-kobe.or.jp

そのほか、社会福祉士・精神保健福祉士の受験対策講座、および介護福祉士、社会福祉士の模擬試験も行っております。

おしらせ

こうべ認知症生活相談センターが開設されました

認知症について、不安や心配なことがあればお気軽にご相談ください。経験のある保健師、看護師、社会福祉士、ケアマネジャーが相談に応じます。

- 最近もの忘れがあるが、もしかして認知症?
- どのように接したらいいのか困っている(病院受診、対応方法など)
- 若年性認知症について相談したい

他にも、身近な相談窓口の紹介、認知症の進行予防や本人・介護者の交流の場、地域の見守り等、様々な疑問や悩みについてご相談いただけます。

【電話】078-271-5081
【FAX】078-271-5366
※相談内容、個人情報の保護については厳守します。
【開 設 日】月～金曜日　【開設時間】9:00～12:00／13:00～17:00
【所 在 地】こうべ市民福祉交流センター　※祝日と年末年始(12/29～1/3)を除く

ご寄付をありがとうございます
～みなさまの善意を福祉活動に役立てます～

＊寄付をしていただいた個人・法人は、所得税・法人税の優遇措置が受けられます。

【善意銀行】平成27年1月～4月末
善意銀行では、金銭・物品のご寄付を「金銭口座」と「物品口座」にお預かりしています。

預託の部

金銭口座：富国生命保険相互会社、日本入れ歯リサイクル協会、特定非営利活動法人 夢・同人、日本信号株式会社大阪支社、匿名7件

物品口座：ネッツトヨタ神戸株式会社、ナブテスコ株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、匿名1件

払出の部

金銭口座：神戸市知的障害者施設家族会連合会、いたやど障害者地域生活支援センター、淡河地区民生委員児童委員協議会、神戸愛山協会

物品口座：公益社団法人 神戸市民間病院協会加盟病院、なでしこデイホーム、ひまわりデイサービス、神戸難病相談室、神戸市母子福祉たちばな会、神戸市家庭養護促進協会

プレゼント

アンケートにご協力ください（応募締切：7月31日必着）

「きずなKOBE」第10号はいかがでしたか？
ご覧になった感想をお寄せください。お寄せいただいた方のなかから抽選で、下記のプレゼントをお贈りいたします。

A 神戸市立須磨海浜水族園 入園券

須磨海浜水族園では、須磨海岸の夏の風物詩・須磨海岸にイルカが泳ぐ「須磨ドルフィンコースト」を7月9日から8月31日まで開催します。期間中は、自由にゆったりとイルカたちを観察いただけます。また、夏休み限定で海辺のドルフィンウォッチングやトレーナー体験プログラムも実施します。是非、須磨海岸にドルフィンウォッチングにお出かけください。

5組10名様　神戸市立 須磨海浜水族園

B ～港で出合う芸術祭～ 神戸ビエンナーレ2015 入場チケット

2年に一度開催される芸術文化の祭典「神戸ビエンナーレ」。5回目となる神戸ビエンナーレ2015は「スキ。」をテーマに9月から開催。新たに会場に加わった東遊園地では、夜間に作品を展示します。神戸の街中にアートがあふれる66日間をお楽しみに。
会期：9月19日～11月23日（※東遊園地会場：9月19日～11月1日）

5組10名様

C 「社会福祉法人たんぽぽ」より ポッパナ織り ショルダーバッグ

ポッパナは、フィンランドに古くから伝わる伝統織り。自然素材で作られた素朴な風合いが特徴です。
利用者さんの手づくりによる作品は、どれも独創性にあふれ、そのデザインはふたつとない限定品。
カラフルなこのバッグをつかえば、ちょっとしたおでかけもきっと楽しくなりますよ。

1名様

読者のお声 VOICE ～第9号に寄せて～

- 私も地域で防犯・防災のボランティアを通して、お年寄りとの交流・絆を深める為日々頑張っています。これからもこの広報誌きずな・KOBEを愛読していきたいと思います。（S・Mさん）
- 当時5歳だった自分。遠く鹿児島に住んでいた自分。今ではご縁あって神戸で小学校の先生をしています。さらにご縁で防災担当。震災経験はしていないものの、少しでも後世に伝えたいという想いから、毎年、1.17の集いにも参加させてもらっています。震災から「死」を伝えるのではなく、「生」を伝えていきたいと思います。神戸に住んでもうすぐ4年経ちます。これからも神戸の子どもたちのために頑張ります。（R. Oさん）
- 1歳半の子どもがいるので、「地震・災害の心がまえ」がとても役立ちました。防災時に持ちだすバッグは前から用意していましたが、これを見て、リュックに替えました。赤ちゃんがいると持ちだす物もあれもこれつめてしまい大きなカバンになってしまっていましたが、最低限の物だけにしてリュックに入る量にしました。（Y. Kさん）

【応募方法】ハガキまたはEメールで

お名前、ご住所（〒）、電話番号、年齢、性別と希望のプレゼント名、本誌をご覧になっての感想を明記して、下記までご応募ください。当選者の発表は商品の発送に代えさせていただきます。

ハガキ　〒651-0086
神戸市中央区磯上通3-1-32
神戸市社会福祉協議会
「きずな・KOBE」プレゼント係へ

Eメール　kouhou@with-kobe.or.jp

※次号は2015年11月発行の予定です。

トヨタハートフルプラザは、トヨタの福祉車両「ウェルキャブシリーズ」の総合展示場です。

TOYOTA

来て、見て、さわって体感しよう!!

2015 わくわく!
ウェルキャブ フェア
8月1日(土)・2日(日)
10:00～17:00
新型車展示

〒650-0023
兵庫県神戸市中央区栄町通7-1-3-2F
神戸中央郵便局西向い

トヨタウェルキャブ 総合展示場 トヨタハートフルプラザ神戸　TEL.078-366-1616　FAX.078-360-0399
営業時間/午前10:00～午後6:00　定休日/毎週月曜日および第2週火曜日（祝日の場合は翌日）
ハートフルプラザ神戸　検索　http://toyota.jp/heartful/

きずなKOBE 第10号（2015年7月発行）
発行　社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
〒651-0086 神戸市中央区磯上通 3-1-32 こうべ市民福祉交流センター
http://www.with-kobe.or.jp/　TEL 078-271-5306
製作　株式会社プランニングオフィス・トライ

「きずなKOBE」では、企業等の広告を掲載しています。広告掲載のお問い合わせは、078-271-5306 神戸市社会福祉協議会 広報交流部へ。

この広報誌は、ふれあいのまちKOBE愛の輪運動の補助を受けて発行しています。

神戸市社協広報印刷物登録
平成27年度第3−1号　広報印刷物規格A−3類